

# 第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

## この試合のプレー集計

### 1回戦

石川県選抜

5	—	0
3	—	1
4	—	1
4	—	0
PSO		

2 山形県選抜

審判:

潮崎 正一  
中村 友美

石川県選抜	26	SH数	9	山形県選抜
	18	速攻数	5	
	21	ST・SB	3	
	13	SH・P誘発アシスト	3	
	67%	GK阻止率	27%	
	4	EX反則数	9	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

男子の開幕戦は、優勝経験もあり、ジュニア・ユース世代では安定した実力を見せている石川と、過去には3位になったこともある東北の雄・山形との一戦。伝統的に両チームは泳ぎの展開が持ち味で、攻防の起点からの泳ぎ出しがポイントとなる。

#### 【1P】

石川がボール接点で相手ボールを奪ってからの退水攻撃で⑦中村が決めて先制。続いて、またもやボール接点勝負で勝った石川がペナルティを誘発して追加点、さらに山形の退水攻撃を防いでからの速攻で3点目。ボール接点勝負で、石川が山形を圧倒して序盤リード(石川5-0山形)。山形はボール展開が遅く、石川側がボールヘダブルマークしやすい状況を許している。

#### 【2P】

山形がようやくパス回しができるようになり、センター③大津のバックシュートで1点を返す。しかしすぐさま石川が退水を誘発して追加点をあげて再び5点差に。さらに波状攻撃で退水を奪って追加点をあげ、やや一方的な展開となった。山形は石川のシュートをGK①佐藤が懸命に防ぐが、攻撃時の動きが少なく、パスが狙われて思うように展開できないまま第2ピリオド終了。石川8-1山形で、ここまでのPF数が石川1に対して山形がペナルティを含めて6という状況。

#### 【3P】

ピリオド序盤、山形センター位置での勝負ができるようになり、③大津がペナルティを誘発して2点目をあげるが、石川側は山形のミスに乗じての速攻でさらに追加点をあげて点差を広げていく。石川は山形④後藤をダブルマークして警戒しているが、山形はそこへパスを出し続けてミスを連発。逆に④後藤が焦ってPFを犯してリズムに乗れない展開。山形は④後藤以外にフリーになっている選手が機能しておらず、石川のDF網に自ら飛び込んでミスを重ねてしまう展開をどこまで改善できるか。第3ピリオド終了時点で石川12-2山形と、さらに差が広がって最終ピリオドへ。

#### 【4P】

小柄な中学1年生石川⑩徳田のゴール前の動きに山形は翻弄されてペナルティ。その後も⑩徳田の動きについていけない山形④後藤が3つ目のPFを喫してしまい、山形の劣勢が続いた。山形が退水を誘発しても攻撃が続かず、逆に石川の中学生メンバーに泳がれて失点を重ねてしまい、結局、石川16-2山形という結果となった。

石川は高校生も中学生もほぼ同レベルでの水球を展開できる強みを発揮して順当勝ち。山形は前回大会同様、初戦敗退となった。